

令和3年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習 時間数	6 時間
講習の名称	【選択】自然界を知るための教材・教具	講習形態	講義・実習 (遠隔授業)
開設者	長崎大学	定員	24 名
開設日/時間	令和3年5月22日(土) / 8:55~16:10	会場	インターネットを受信できる場所(職場もしくは自宅など)
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・幼保連 携型認定こども園 教諭
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 土肥 大次郎(人文社会科学域) / kyoumen@m1.nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2872			
担当教員(分担担当者等) 井手 弘人(人文社会科学域)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい:各学校種における各教科等の学習の目標達成を容易にする教材教具についての知識・技術を身に付けるとともに、現在ICT等を使って大きく進化している教室環境の整備のための教具を幅広く知る 講習方法:実習形式をとり入れた講義方式並びに演習方式 講習到達目標:身の回りの自然や生活に関して各教科等の学習支援のための教材・教具を知り、扱えるようになる			
講習内容(概要) /講習計画(時間毎の講習内容を含む) /キーワード 講習内容(概要) 学校教育の素材の大半は自然界や身の回りの生活の中に存在すると言っても過言ではない。教員は大なり小なりいろいろな視点から自然界や身の回りの生活に関わる教材を活用している。一方で、最新の技術をもとにした学校教育用教材も多く開発されている。本講習においては、自然界や身の回りの生活の中に学習素材を見出し、その知識を様々な教科に活用するための基本的な自然界の見方や生活の捉え方、教材活用法の習得をねらいとする。さらに、実践への効果的な活用を考え、学習者のためのより良い教室環境・学習環境(ICT 等)の整備と工夫・改善のあり方について考える機会とする。			
講習計画・内容			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	8:55~9:00	土肥 大次郎
	講義① 教材・教具の工夫と活用(Ⅰ) (途中10分休憩)	9:00~11:40	土肥 大次郎
	試験1	11:40~12:10	土肥 大次郎
	昼休憩	12:10~13:00	
	講義② 教材・教具の工夫と活用(Ⅱ) (途中10分休憩)	13:00~15:40	井手 弘人
	試験2	15:40~16:10	井手 弘人
キーワード (自然界) (生活環境) (教室環境) (教材・教具)			
成績評価の方法	成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取組み等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	特になし。		
各自で準備するもの	パソコンまたはタブレット(可能な限りパソコンで受講ください)・WEBカメラ・マイク・スピーカー ※パソコン等に内蔵されていれば上記の機材は必要ありません。		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。		